



保護者 様

平成31年3月15日

枚方市立招提小学校

校長 喜多 一友

平成30年度 学校教育自己診断アンケートの結果について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育活動並びにPTA活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、12月に実施させていただきました表題のアンケートにはご多用の中、ご協力いただきましてありがとうございました。この度、アンケートの結果をまとめましたのでご報告させていただきます。本結果並びに、いただきましたご意見等を今後の学校及び教職員の教育活動がより充実したものとなるよう参考とさせていただきます。

- 1. 児童回答数 **393名**〔アンケート回収率 98.0% (在籍児童数 401名)〕
【アンケート実施期間 12月7日～14日】
- 2. 保護者回答数 **344名**〔アンケート回収率 85.8%〕
【アンケート実施期間 12月7日～18日】

【保護者アンケートより】

➤ A. 肯定的回答「そう思う」＋「ややそう思う」が多かった項目

	項目	肯定的回答(%)	前年度比(ポイント)
1	運動会や遠足等の学校行事は、適切に行われている。	96.2	－ 1.2
2	学校は、授業参観する機会をよく設けている。	95.0	－ 0.4
3	先生は、わかりやすい授業づくりに努力している。	94.5	＋ 1.4
4	学校の様子や取組みが、懇談会、通信・たより、ホームページ等で知ることができる。	93.9	＋ 3.7
5	学校諸費(学年費等)の内容・金額は適切である。	93.9	＋ 3.1

- ※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 43項目中、21項目〔48.8% (+13.8ポイント)〕
- 肯定的回答が、85%を超えた項目 43項目中、32項目〔74.4% (+6.9ポイント)〕

- * 1. 2. については、前年度に比べ、若干のマイナスとなりましたが、学校行事や授業参観の実施について今年度も高い評価をいただきました。今後も引き続き、保護者の皆様に参加していただきやすい日程等を考慮するなどし、楽しみにしていただける学校行事にしていきたいと考えます。
- * 3. については、前年度比1.4ポイントのプラスとなりました。今年度も教員の授業づくりに対して高い評価をいただきありがとうございます。学校経営方針の確かな学力の向上に向けた具体的な方策の一つとして、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づき、目標(めあて・ねらい)の提示や、学習の見通しを立てる、ひとりでじっくり考え、発表や話し合いをする、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、発達段階に応じた『授業スタイル(授業の進め方)』を研究・実践する。特に、『じっくり考える力』の育成を最重点課題として授業で取り組むとともに、『かかわり合う力』『学びあう力』の育成にも努める。』を掲げ、日々、授業改善・授業

づくりに取り組んできたことの成果を評価していただいたものと考えております。この結果に満足することなく、今後も一層の努力をまいります。

* 4. では前年度比+3.7ポイントの肯定的評価をいただきました。今年度は「招提小だより」を月2回のペースで発行してまいりました。また、ホームページを随時更新し、学校の取組や子どもたちの様子を掲載してまいりました。保護者の皆様に学校の事を知っていただく『発信』を積極的に行ってきた事を評価していただいたものと考え、大変嬉しく存じます。今後も保護者や地域の方へ、学校の事を知っていただく『発信』を楽しみにしていただけるよう頑張っております。

➤ B. 否定的回答「あまりそう思わない」＋「そう思わない」が多かった項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	子どもは家で、よく読書をしている。	69.8	+ 9.3
2	子どもは家で、学校の授業の復習をしている。	61.6	- 0.3
3	子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している。	61.3	- 0.3

➤ C. 否定的回答「あまりそう思わない」＋「そう思わない」が20%以上の項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	子どもは、授業でわからない時やもっと知りたい時、そのことについて教えてもらっている。	23.3	+ 2.4
2	子どもは、将来の夢や目標をもっている。	23.0	- 2.8

* B. の結果から、保護者の方がご家庭で見いただいている子どもたちの様子がよくわかりました。特に 1. の結果から、子どもたちが家で読書をしている様子をあまり見られていないことがわかります。前年度に比べて否定的回答が9ポイント以上増えています。また、2. 3. の項目では、授業の復習及び計画的な学習や自学自習に取り組んでいる様子についての否定的回答が6割を超えています。これら結果と相関関係にあると考えられるのが、テレビやDVDを視聴すること及びスマホ(インターネット、SNS)やゲームをすることです。今年度実施した「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び学校で取り組んでいる「生活習慣振り返りカード」の結果をみても、本校の児童は、毎日、テレビやDVD、スマホ、ゲーム機の画面に向かって時間が長いことがわかっています。

学校では、図書の授業はもとより、『朝読書』及び外部講師や図書委員による『ストーリーテリング』、『おすすめの本アンケート』を行ったり、中央図書館から図書の貸し出しを受けたりして、子どもたちの読書意欲の喚起、読書習慣の定着を図る取組を進めているところです。これらの取組は今後もより一層進めてまいりたいと考えます。家庭での学習は基礎的・基本的な学力の定着、また、読書は知識を増やしたり、語彙力を高めたり、心を豊かにしたりとたくさんの効果が期待できるものです。引き続き、保護者の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

* Cの 1. の否定的回答が20%を超え、前年度比でも2.4ポイント上昇しています。子どもたちが授業で「もっと知りたい」と思う意欲を大切にしていく必要があると考えます。また、わからないことをそのままにせず、気兼ねなくそのことが言えるクラスの雰囲気づくりや教員の対応姿勢、子どもたちとの信頼関係づくりもとても大切だと考えます。子どもたちの「学びたい」という意欲・気持ちにしっかりと応えられる授業にできるよう、さらに努力を積み上げてまいります。

【 児童アンケートより 】

➤ D. 肯定的回答「思う」＋「少し思う」が多かった項目

	項 目	肯定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	担任の先生の授業は、わかりやすい。	96.2	＋ 2.5
2	家で、学校の宿題をしている。	95.2	－ 0.7
3	授業の中で、ペアやグループで話し合う時間がある。	94.1	＋ 3.3
4	命の大切さや、他人への思いやりをもつことを学習している。	93.6	＋ 3.0
5	担任の先生は、話をきいてくれる。	93.4	＋ 0.3

※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 35 項目中、14 項目 [40.0% (－ 3.8ポイント)]
 肯定的回答が、85%を超えた項目 35 項目中、23 項目 [65.7% (－ 3.1ポイント)]

* 1. の項目では、95%を超える子どもたちが肯定的に回答しています。前年度比でも 2.5 ポイント上昇しました。また、「思う(強い肯定)」と回答した子どもたちが 75%を超えました。各担任にとっては嬉しい結果であるとは思いますが、「すべての子どもたちがわかる・できる授業」が目標です。100%の回答が得られるよう引き続き、『授業改善』『わかる授業づくり』に取り組んでまいります。

* 2. の項目では、肯定的回答の割合が 95%以上と大変高い結果が出ました、しかしながら、0.7 ポイントとわずかですが減ってしまったことが残念です。ほとんどの子どもたちがきちんと宿題をしているのですが、まだ、忘れてしまっている子どもたちがいるということです。学校でも引き続き指導してまいります。ここには、ご家庭の協力が不可欠です。保護者の皆様には、叱咤激励し、頑張った時には褒めるなどのご支援をいただければ有難く存じます。何卒よろしく願いいたします。

* 3. の項目では、肯定的回答の割合が前年度に比べ 3.3 ポイント上昇しました。本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づき、発達段階に応じた授業スタイルの実践に取り組んでいるところです。特に、「じっくり考える」時間を授業の中で設定し、『考える力』の育成を重点項目として取り組んでいます。そして、考えたことをペアやグループで話し合ったり、意見交換したりすることで自分の考えを確かめたり、新しい考えを見つけたりできるよう積極的に時間を確保し取組を進めているところです。引き続き、子どもたちの学習が深まるよう、高まるよう研究・実践に取り組んでまいります。授業参観等を通して、保護者の皆様にもその取組の成果を実感していただければと存じます。

* 4. の項目の肯定的回答の割合が前年度に比べ 3 ポイント上昇しました。今年度、道徳の時間が、「特別の教科 道徳」となり、本校でも新しく発行された教科書を中心とした年間指導計画に基づき、道徳科の授業の充実を図ってまいりました。5、10 月の授業参観では各学年・学級で道徳科の授業を公開し、保護者の皆様にもその様子を観ていただきました。また、いじめの未然防止、早期発見・解消に向け、子どもたちに「学校をよくするためのアンケート」を行い、教育相談期間を設けるなどして、実態把握に努めるとともに、「いじめは絶対に許されない」という毅然とした姿勢で指導し、いじめのない学校づくり、思いやりのある子どもの育成を進めてきました。しかしながら、日々、様々なトラブル、問題事象が起こっている現状があります。今後も引き続き、教職員一人一人が豊かな人権意識・感覚をもって教育活動を展開し、子どもたちの『豊かな心』を育ててまいりたいと考えます。

➤ E. 否定的回答「あまり思わない」＋「まったく思わない」が多かった項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	家で、学校の授業の復習をしている。	47.7	＋ 4.4
2	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	36.1	＋ 1.0

➤ F. 否定的回答「あまり思わない」＋「まったく思わない」が20%以上の項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	授業の中で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	27.5	＋ 5.6
2	担任の先生の他にも、気軽に相談することができる先生がいる。	23.2	－ 1.2
3	授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	22.6	－ 1.0
4	しっかりとあいさつができている。	21.6	＋ 5.3

* E. では、保護者の方と同じ項目があがってきました。2項目とも前年度よりも否定的回答の割合が増えています。やはりこの要因として考えられることは、スマホや携帯電話、ゲームやテレビに費やす時間が長いことではないでしょうか。学校としましては、これまでも指導してきました宿題のやり方や家庭で行う授業の復習方法、学習計画の立て方、自学自習ノートへの取り組み方等について指導を一層進めてまいりたいと考えます。保護者アンケートの結果のところでも申し上げましたが、これには保護者の皆様のご協力・ご支援が不可欠です。今後も子どもたちへの指導はもちろんのこと、ご家庭にも発信・啓発させていただくこととなりますが、何卒よろしく願いいたします。

* Fの 1. の結果を見ると、「授業の中で、ペアやグループで話し合う時間がある。」の質問項目の肯定的回答が 94.1%と高かったにも関わらず、この項目の肯定的回答は 71.8%、否定的回答については前年度に比べて5.6ポイント高い27.5%となりました。この結果から、授業中、ペアやグループで話し合っているが、学習を深めるところまでいっていないと感じている子どもたちが1/4以上いることがわかりました。話し合う課題や内容の設定、話し合わせ方などの工夫・改善が必要だと考えます。教員の授業研究・教材研究を進め、授業改善に努め、「主体的・対話的で深い学び」のある授業をめざしてまいります。

* Fの 4. は意外な結果が出たと感じております。学校では、毎月のあいさつ運動週間の取組や集会での話等を通して、「いい(元気よく、丁寧な)あいさつ」ができる子どもたちが増え、どんどんよい方向に変わってきていると感じていたところでした。前年度に比べても5ポイント以上増加しています。学校としましては、これまでの取組を継続するとともに、道徳科の授業や学級活動等の学習を通じ、「進んで元気よく気持ちの良いあいさつができる」子どもたちを育てていきたいと考えます。また、ご家庭とも連携して取り組んでまいりたいと考えます。家での毎日のあいさつ、「おはよう」「いただきます」「ただいま」「おやすみなさい」など、子どもたちへのお声かけをよろしく願いいたします。

【 保護者アンケート 自由記述より 】

< 学習指導について >

- * 放課後のSGKやK-SGK等の参加の場があり、学べる機会が増えたことが嬉しい。これからも続けていただけたらありがたい。
- * 図書室の本をもう少し増やして欲しい。借りる本の冊数も増やしていただけるとありがたい。

☆ 学校としましては子どもたちに、放課後に「学びの場」を提供することも学力向上に向けた大切な取組の一つだと考えます。対応できる人材を確保することや教材等を有効に活用できる方策を考え、より一層充実した取組としてまいりたいと考えます。

☆ 今年度、図書室をリニューアルし、新刊も増やしました。蔵書冊数も増やしているところです。今、1人の子どもが借りることができる冊数は週に1冊ですが、毎日休み時間に図書室を開放しており、その時に借り換えができるので、それを利用していただければと存じます。借りられる冊数を増やせるかどうかにつきましては今後検討してまいりたいと考えます。

< 子どもたちへの指導について >

- * いじめにつながりそうな行動や言動をしている子ども達をよく見たり、聞いたりします。されている子が、いじめられていると思わなかったとしても、周りも不愉快だと思う。もう少し子ども達の様子を見て欲しい。
- * 「いじめはない」とするのではなく、小さな問題でも起こった場合に対応できるよう、多様性を認められるような指導を今後もしていただけたらと思う。
- * 一部ではあるが、持病について、心無い言葉を言ったり、たたいてみたり、蹴ってみたり、子どもどうしの時だけに言われたりしている。もっと自分の子どもをきちんと見て欲しいと他の保護者に対して思う。
- * けったり、たたいたりする子ども達が多いように思う。保護者が、自分の子どもを高く評価し過ぎて、自分の子が他の子どもを傷つけていることを知らない家庭が多すぎるように思う。
- * 子ども達の荷物が重すぎると感じる。置勉を取り入れてもよいかと思う。

☆ 今年度もいじめにつながるような事象や暴力等については未然防止、早期発見・早期対応を心がけて対応してきました。しかしながら、子どもたちの中でのトラブルは日々生起しているのが現状です。子どもたちには、そのような事象が生じた時には、その都度、話を聞き、指導を行っています。学校としましては、教員自身が研鑽を積み、自身の観察力及び指導力の向上に努めてまいります。また、ご家庭との連携を強化しながら、今後さらに道徳科の授業をはじめ、学校の教育活動全体を通じて子どもたちの『心』を育む取組を進め、いじめ・暴力の根絶を徹底してまいりたいと考えます。ご家庭でもお子様の気になることがあると感じられましたら、早めにご連絡いただければと存じます。ご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。

☆ 子どもたちの荷物が重いということは、ニュース等でも取り上げられ話題にもなっているところです。学校では、学年の状況に応じて、使用頻度が低い教材・教具等については学校保管にして、荷物を減らすようにしております。今後も、子どもたちの発達段階を考慮し、荷物の状況を把握しながら、対策を講じてまいりたいと考えます。

< 学校行事について >

- * 運動会は日曜日にすべきだと思う。土曜が休みの家庭は日曜日も休みというのが多いが、日曜日しか休みがない仕事の家庭は、運動会にいけなくなってしまふ。

☆ 昨年(平成 29 年)度、運動会の土曜日実施等についてのアンケートをとらせていただき、結果をお知らせするとともに学校としての方向性を出ささせていただき、今年度、土曜日に実施することで進めてまいりましたが、台風の影響で延期となり、残念ながら平日開催となってしまいました。運動会を含め、学校行事等についていただきましたご意見を参考にさせていただきながら、今後に向けて改善が図れるよう検討してまいりたいと考えます。

< 登下校について >

- * 通学路の途中に、蜂が多いので、通学路を見直して欲しい。
- * 家でも指導するが、下校時の歩き方（道路に広がる、車が来てもよけない）等を指導していただけたらありがたい。

☆ 保護者、地域の皆様にはいつも子どもたちの登下校の安全見守り活動にご協力・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。今年度も登下校中に大きな事故やトラブルに巻き込まれたり、不審者による被害に遭ったりといった報告がなく安堵しております。これも「見守り活動」のおかげかと存じます。心より御礼申し上げます。いただきましたご意見のように学校でも子どもたちの登校の様子で気になるところがありました。そのような時には個別に登校班を指導しております。また、地区児童会・集団下校時に指導を行ったり、児童集会においても校長から何度となく集団登校等も含めて、交通安全・事故防止について話をしたりしています。学校としましては、今後もPTA校外生活委員会の皆様とも連携を図りながら、通学路の変更も含め、引き続き交通安全、安全な集団登校、下校について指導してまいります。

☆☆ アンケートへのご協力ありがとうございました。いただきましたご意見の中には、学校にとりまして、☆☆
★☆☆ 嬉しく、励みとなるものもたくさんありました。一部ですが、ご紹介させていただきます。 ★☆☆

- * 今のところ気になることはありません。引き続き、子ども達が伸び伸びと成長していける環境づくりをお願いします。
- * いつもご指導いただき、ありがとうございます。何かあれば、メールでお知らせをいただき、助かっています。これからもよろしくお願いします。
- * 今年に入って、入校許可証の確認をきちんとしているのは良いことだと思う。最初は気をつけていても、だんだんと気が緩んでしまうので、これからも続けて欲しい。
- * 最近、いろいろなことが増えて、良くなってきていると思う。
- * いつもお世話になっております。何かあるとメールですぐに知らせてくださり、とても助かっている。
- * 先生方は、いつも親身になって接して下さり、親子共に感謝している。
- * 担任の先生がとても楽しくわかりやすく授業をしてくれるので、毎日とても楽しんで学校に行っています。こんな先生が増えるといいなと思う。

学校としましては、本アンケートの結果を真摯に受け止め、今後、改善、また、さらなる取組の充実を図ってまいりたいと考えます。

全教職員がベクトルを同じ方向に向け、一丸となり、『チーム招提小』として、子どもたちの指導・支援に努めてまいります。

今後とも保護者の皆様のご協力・ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。